

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施 設 名	白根北児童館		
管 理 者 名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	指 定 期 間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日
担 当 課	南区役所健康福祉課		
所 在 地	新潟市南区鷺ノ木新田5402番地		
根 拠 法 令	児童福祉法		
設 置 条 例	新潟市児童館条例		
施 設 概 要	敷地面積 2,895.10㎡ 建築面積 330.0㎡ 延床面積 330.0㎡ 構成施設の内容 1階 集会室 (50.00㎡) , 図書室 (30.00㎡) , 事務室 (20.00㎡) , 遊戯室 (140.00㎡) , 静養室 (9.00㎡) トイレ (23.65㎡) , その他 (57.35㎡)		

施 設 設 置 目 的
旧白根市北部地域における地域の子どもの健全育成支援や育児不安に陥りがちな母親支援を目的として、子どもが自由に遊べる屋内遊戯の場と子育て支援を行う場を併せ持つ施設として児童館を設置する。
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 、 方 針 等
新潟市児童館条例の規定に基づき、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにするための児童館とするため、以下の項目を基本方針とします。 1 子どもの健全育成をはじめ、ボランティア活動や地域社会と協力連携しながら、地域住民に親しまれる児童館とします。 2 子どもたちがいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、子どもたちに健全な遊びや情報の提供を行います。 3 子育て世代の親子や高齢者等が世代間交流を行う場としての機能を持つ施設とします。 4 「中高生の居場所づくり」も強く求められており、屋外に設置してある3オン3コートを、中高生を含めた健全育成事業の場として活用します。

令和6年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	行事日より、ホームページ等による児童館活動に関する情報発信 2回以上/月	・毎月区報「みなみ風」にその月の行事案内を掲載。行事日より1回/月発行し、各施設に配布している。 ・ホームページ更新を2回/月。その他チラシ、公式X、インスタグラムで発信している。 ・その他地元地域(大通、根岸、大鷲)のイベントに出向いたり、こども食堂「もぐ」に野菜提供をして直接行事だよりの配布やPRを行っている。 ・園外保育、移動児童館を行っている旨を年2回以上各施設に配布。さらに園外保育や移動児童館に伺った際には児童館の案内を配布。 ・中学生向けのチラシを作成。中学校や入学間近の小学6年生へ配布している。	A	南区役所日より、ホームページの他、SNSを利用して情報発信した。地域のイベントなどに出向き施設のPRや行事だよりを配布する等、幅広く広報活動を行っていると認められる。
	基準利用者数の達成	来館者数(年)(基準:50人×358日)17,900人以上	・令和6年度総来館者数 23452人 - 一日平均:65.5人	B	来館者、1日平均利用者の指標は達成した。
	利用者の満足度	利用者アンケートの実施 2回以上/年	15回以上/年実施。(パパサロン、ハロウィン会、クリスマス会、移動児童館等各イベント毎にアンケート実施。 ・その他随時乳幼児親子、小学生、中学生、高校生へ聞き取りを行っている。 ・意見箱の設置、意見の公開掲示を行っている。	B	各イベントごと、各世代ごとにまんべんなく調査を行い、利用者のニーズの把握に努めている。
	苦情・要望に対する対応	原則1週間以内の回答 苦情・要望マニュアルの整備	・随時聞き取りの中で上がった要望にはその場で共有(シフトで欠席の職員で共有が難しい場合は連絡ノートで伝達)と現場責任者への報告、対応している。その他館内掲示にて案内をしたり、その後改善した内容等には来館者に直接説明している。 。対応マニュアルはワークーズで整備されている。	B	苦情や意見の職員間での共有が図られ、来館者への周知も工夫している。マニュアルが整備されている。

	事業の実施	・乳幼児向け、小中高向け事業の実施数 4回以上/月 ・地域、関係機関との連携事業実施数 2回以上/年	・乳幼児イベント:いちごタイム(工作タイム、農園での活動も含む)/毎週1回、運動会やクリスマス会等季節のイベント/各年1回、ベビーマッサージ/年1回、いちごミルクタイム/毎月1回、いちごいちば/年6回、パパサロン/年6回、BP講座/年2回 ・小学生イベント:クラブ活動/月1~2回、フリーゾーン(4月~8月)、じゃがいも掘り・さつまいも掘り・あおぞら市場夏・あおぞら市場秋/各年1回、クリスマスコンサート・豆まき会、アクアビーズ工作/年1回、ドッジボール大会/年2回 ・ほくほくスタンプ活動/春~秋毎日 ・中学生イベント:チャレンジスポーツ月間/年2回 ・移動児童館/月3回以上 ・その他:南区児童館・児童センター4館合同スタンプラリー・南区児童館・児童センター4館合同ドッジボール大会/年1回、初めまして赤ちゃん/年3回	A	各利用者のニーズに応じた魅力ある事業を実施した。ドッジボール大会では、父親チーム、母親チームが地域とも密接に関わる事で連携が図られ、地域に定着してきている。
財	業務の効率化	施設利用者1人あたり運営経費1,204円以下	1人あたりの運営経費は766円。	B	事業費の削減に努め目標を下回ることができた
業	設置目的の理解	・運営協議会の実施数2回以上/年 ・業務仕様書に定める事項の遵守 違反回数0回 ・建築設備の保守管理 協定書に定める回数以上	・7、2月に開催。 ・責任者が各コミュニティ協議会へ赴いて協議/年3回 ・業務仕様書に定める事項の違反無し。 ・協定書に定められている建物設備の保守管理は規定回数以上実施。 ・その他、月に1回館内点検日を設け、職員による保守点検。職員によって9時、13時、18時3回/日の保守点検により早期発見、対応に努めている。	B	地域運営協議会を実施し、事業運営に活かしていると認められる。また、設備の保守管理を規定通り実施し、適正な管理に努めている。
	情報の伝達と共有	苦情・事故発生時の早期報告	・苦情発生時には、早急に対応できるように努めている。また休日も含め迅速に担当課に連絡を取る体制を整えている。 ・事故発生時、職員と連絡を取り、速やかに応急処置、保護者、担当課へ連絡、報告書の作成及び担当課への提出を行っている。 ・その他、職員全員で救急救命、応急処置の研修や訓練を行っている。 ・対応マニュアルはワーカーズコープとして整備されている。	B	発生時の迅速な報告を心掛けた。
	安全安心の確保	防災訓練実施回数年2回以上	・火災を想定した避難訓練、消火訓練、通報訓練を利用者と共に実施(年2回) - さらに、それとは別に小学生向けイベントの中で地域の防災士を呼んでの防災訓練も1回実施。職員による防災訓練も2回実施。 ・地震を想定した避難訓練年2回 - や水害の想定確認。 ・南警察署より講師を招き、不審者対応研修1回実施。	A	既定の訓練に加えて防災を意識したイベントを実施して利用者にも防災の意識を啓発した。

	コンプライアンスの確立	児童福祉法、新潟市児童館条例の遵守、個人情報等の守秘義務マニュアルの整備	・個人情報情報はパソコンや外部記録媒体に記録せず保管。保管場所は施錠し、必ず職員を配置している。 ・受付表を個人表に変更し、個人情報の漏えい防止に努めている。 ・個人情報の守秘義務マニュアルを作成し、職員全員が把握し対策を常時確認している。	B	各規定を遵守し、業務を実施している。個人情報はマニュアルに沿って取り扱っている。
	業務仕様書に定める事項の遵守	その他業務仕様書に定める事項の遵守	・仕様書等に定める事項を職員がいつでも確認できるようにしている。その他すぐに相談できるよう、事業所でも把握し、遵守に努めている。	B	仕様書の内容を把握し、業務を遂行した。
人	配置人員条件の水 準維持・育成の適切 性	業務仕様書に定める人員配置 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度 年2回以上の研修参加	・事業仕様書に定める有資格者及び非常勤職員で通常業務を行っている。その他きたもんクラブ等地域のボランティアやとーさんず、児童館OB/OG、大学生、中学生、高校生から活動や職員のサポートを受けている。職員全員が危機管理を意識し、遊びの見守り関わりを行い、企画運営を行なっている。 ・新潟市が行っている研修、連絡会に参加。児童厚生員研修等の児童館職員用の研修の他、自館独自でも講師を招き職員全員で研修を受ける体制を整えている。その他職員全員が自主的に学びたい研修を受講している。(年2回以上)	B	人員を適正に配置していると認められる。研修会に参加し、人材育成にも努めている。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

・令和5年度同様に来館者が増え過去最高の利用人数となった。小学生は令和5年度より伸び悩んだが、大通学童クラブの定期利用により、推移を維持出来た。また、中学生の利用は令和5年度の2倍に増え、中高生の居場所としての機能が高まった。

・母親・父親のためのイベントを企画。母親のリフレッシュの機会「いちごみるくタイム」では児童館ならではのカードゲームですぐに打ち解け、利用者同士の交流が多い。父親の交流の機会「パパサロン」では父親の育児参加が多く、家族ぐるみで交流している。平日の未就園児向けの乳幼児イベントも人気で、特に季節のイベントでは白根北児童館ならではの催しで楽しんでもらっている。保育園帰りの園児親子の利用も多く、夕方は賑やかに過ごしている。

・小学生にはドッジボールが人気で学年・中高生問わず一緒にあそんでいる。小学生の父親「とーさんず」とのドッジボール大会が人気で令和6年度は「かーさんず」も結成してほしいと母親等から依頼があり結成。中学生も勝負したいと「中学生VSとーさんず」も実施。多世代交流から白熱した戦いが繰り広げられている。

・中高生はチャレンジスポーツミッションで様々なミッションにチャレンジ。小学生等が協力し達成した時はみんなで喜べるイベントとなっている。また、職場体験をきっかけに職員の手伝いも率先してやってくれることから頼もしい姿が見られ、小学生や幼児との交流も盛んで自主性、社会性が育まれている。

・利用前の手洗いからハンカチ持参を呼びかけ、利用者のハンカチ持参率が高い。乳幼児イベント時にサイズアウトした洋服やおもちゃを欲しい人にお譲りする「いちごいちば」の実施や生ごみをたい肥化するダンボールコンポストの取り組み等SDGsに取り組んでいる。

・移動児童館では「児童館利用促進事業GoTo児童館」に則って根岸・大鷲地域に出向いた。根岸地域には学童クラブの他に夏休みに毎週1回計4回の「ねぎしっ子児童館」を実施。中学生も一緒に根岸地域の居場所となった。大鷲地域には大郷地域生活センターと大鷲小学校に各月2回おりがみDaysを実施。折り紙の作品以外にも絵を描いたり毎回発想豊かな作品が出来ている。

・中学生の部活動地域移行に伴い、中学生の部活や活動する環境が整わずにいる。次年度中学校と地域と連携しながら中学生の放課後の居場所を検討していく。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

施設の設置目的及び管理運営に関する基本理念・方針等を常に意識し、その他業務仕様書等に定める事項の遵守も徹底している。

指定管理者として、利用者が安心安全に利用できるよう対策も徹底されており、全ての項目について要求水準以上を達成した。